

あなたのくらしのすぐ下で

台風第25号における雨水貯留実績

～約120万 m^3 （25mプール約3,200杯分）の雨水を地下空間に貯留～

令和8年9月20日から21日にかけて、本市に接近した台風第25号の影響により、市内では「レベル4大雨危険警報」が発令されました。この降雨により、市内では、**最大1時間雨量52.0mm**（港南消防署野庭消防出張所）、**総雨量355.0mm**（金沢消防署幸浦消防出張所）を観測しました。

こうした降雨に対し、本市が整備を進めてきた雨水貯留施設では、**合計約120万 m^3 （25mプール約3,200杯分）の雨水を貯留**しました。これらの施設は、降雨時に一時的に雨水を貯留することで下水道や河川への流出を抑制しており、今回の降雨においても浸水被害の軽減に一定の役割を果たしたものと考えられます。



新羽末広幹線（下水道施設）
施設容量：410,000 m^3



これまでの
貯留効果

なお、今年度はこれまでに市内では**計12回の大雨警報等が発令**されており、そのうち4回はレベル4大雨危険警報となっています。これらの降雨に対し、本市の雨水貯留施設では、今年度これまでに**累計約373万 m^3 の雨水を貯留**しました。

本市では、気候変動の影響により激甚化・頻発化する豪雨災害に備え、引き続き雨水貯留施設の整備をはじめとした浸水対策を着実に進めてまいります。

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



令和8年9月20日～21日 レベル4大雨危険警報（台風25号）における貯留実績

浸水被害低減効果一覧

下水道施設名	行政区	排水方式	施設容量 (m³)	貯留量 (m³)	貯留率 (%)
① 新羽末広幹線	港北、鶴見	ポンプ排水	410,000	179,509	44%
② 小机千若雨水幹線	緑、神奈川	ポンプ排水	256,000	575,875	100%
③ 新羽調整池	港北	ポンプ排水	89,000	10,800	12%
⑤ 星川雨水調整池	保土ヶ谷	ポンプ排水	41,700	8,433	20%
⑥ 飯島雨水調整池	栄	ポンプ排水	15,600	15,600	100%
⑦ 蒔田雨水調整池	南		22,000	19,700	90%
⑧ 江川雨水調整池	都筑		17,000	15,150	89%
⑨ たちばなの丘雨水調整池	旭		7,000	4,530	65%
⑩ 金井雨水調整池	栄		6,000	4,600	77%
⑪ 長津田地区東雨水調整池	緑		54,000	10,670	20%
⑫ 長津田地区西雨水調整池	緑		19,000	2,170	11%
⑬ 相沢雨水調整池	瀬谷		56,000	33,560	60%
⑭ 北綱島第二雨水幹線	港北		72,000	38,640	54%
⑮ 獅子ヶ谷雨水幹線	鶴見		6,500	4,550	70%
⑯ 戸部雨水幹線	西		11,000	260	2%
⑰ 万世雨水幹線	中、南		21,000	20,250	96%
⑱ 大岡川右岸雨水幹線	南		18,000	17,830	99%
⑳ 初音雨水幹線	南		7,500	7,450	99%
㉑ 初音雨水支線	南		2,700	2,700	100%
㉒ 東希望ヶ丘雨水幹線	旭		40,000	260	1%
㉓ 南希望ヶ丘雨水幹線	旭		8,000	90	1%
㉔ 二俣川1号雨水幹線	旭		13,000	140	1%
合 計			—	972,767	—

河川施設名	行政区	排水方式	施設容量 (m³)	貯留量 (m³)	貯留率 (%)
① 鳥山川遊水地	神奈川	ポンプ排水	44,000	1,987	5%
③ 今井川地下調節池	保土ヶ谷	ポンプ排水	178,000	49,996	28%
④ 舞岡川遊水地	戸塚	ポンプ排水	55,200	45,750	83%
⑤ 宇田川遊水地	戸塚	ポンプ排水	65,000	51,250	79%
⑥ 和泉遊水地	泉		126,000	5,590	4%
⑦ 宮沢遊水地	瀬谷		48,650	8,110	17%
⑧ 平戸永谷川遊水地	港南		37,900	39,746	100%
⑨ 名瀬川遊水地	戸塚		29,400	10,669	36%
⑩ 阿久和川遊水地	瀬谷		27,900	14,123	51%
合 計			—	227,221	—

総 計	—	1,199,988	—
-----	---	-----------	---

25mプールで換算： **3,200** 杯分を貯留

※25mプール容量イメージ：幅15m×深さ1m×長さ25m＝375m³

- ポンプ排水方式の下水道施設については、最下流のポンプ施設による吐出量を集計した値を記載しています。
また、ポンプ排水を行いながら貯留しているため、貯留容量を超える値になる場合があります。
ポンプ排水方式の河川施設については、対象期間内に排水作業を実施し、複数回貯留した場合は、行を分けて記載します。
- その他の排水方式については、ピーク水位の計測結果から算出した貯留量を記載しています。
※上記1、2の算出方法による値のため、浸水被害低減量は参考値です。
- 貯留実績があった施設のみ貯留量を記載しています。

お問合せ先			
(下水道について)	下水道河川局下水道計画課長	中村	Tel 045-671-2613
(河川について)	下水道河川局河川流域管理課長	石井	Tel 045-671-2819



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

